

1 同梱物を確認しよう

パッケージを開いたら、すべてのものが入っているか確認してください。不足している場合は、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

ドラム・スタンド

番号	名称	個数
1	左脚	1
2	右脚	1
3	ハイハット・ロッド	1
4	センター・パイプ	1
5	右アーム	1
6	左アーム	1
7	シンバル・ロッド	2
8	シンバル・ロッド・ホルダー	2
9	トップ・パイプ	1
10	L字パイプ	2
11	ケーブル・クリップ	4

ドラム音源 / パッド / その他

- ハイハット・コントロール・ペダル (FD-1)
- キック・ペダル (KT-1)
- シンバル・パッド (ハイハット/ライド/クラッシュ用) (CY-5 × 3)
- パッド (スネア/タム用) (PD-4 × 4)
- ドラム音源ホルダー
- ドラム音源 (TD-02)
- 専用接続ケーブル
- ACアダプター
- ドラム・キー

TD-02 取扱説明書へのアクセス

下の2次元コードからブックスタート・ビデオをご覧ください。組み立て手順を動画で紹介しています。

2 ドラム・スタンドを組み立てよう

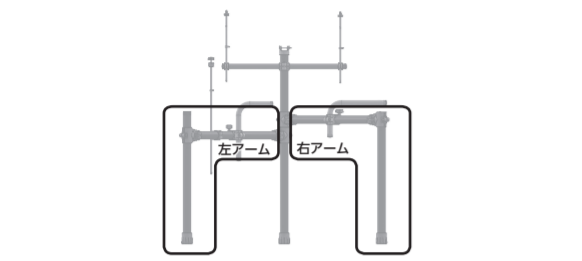
※ 当ドラム・スタンドを長期間同じ場所で使用される場合は、床にゴム足の汚れや跡が付くのを防ぐため、当社製品のドラム・マット (TDM シリーズ) を使用することをお勧めします。

※ 下のドラム・スタンド組み立て手順は、右利き用です。左利き用にセッティングする場合は、右下の「左利き用に組み立てる場合」をご覧ください。

注意

- ドラム・スタンドの設置や調整をするときは、可動部に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所を使用するときは、必ず大人のかたが監視/指導してください。
- 安全に作業できるスペースを確保してください。
- 電動工具を使用して組み立てないでください。ネジが回りすぎる恐れがあります。
- ボルトは強く締めすぎないでください。
- ボルトのグリスによる汚れに気をつけてください。

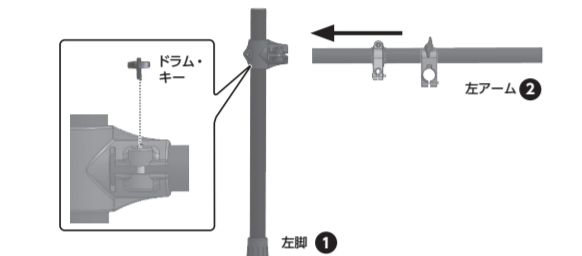
1. 左右アーム部分の組み立て



※ 床に寝かせた状態で組み立ててください。

左アーム部分

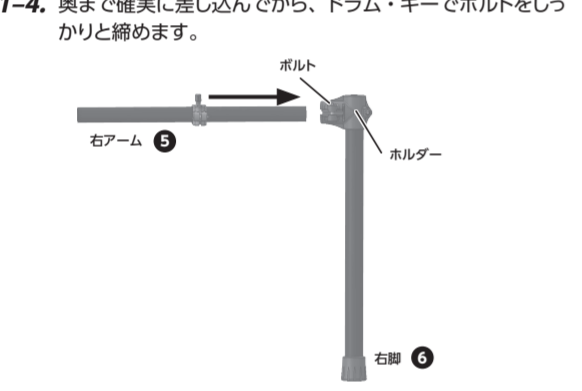
1-1. 左脚 ① のホルダーのボルトをドラム・キーでゆるめ、左アーム ② を差し込みます。



1-2. 奥まで確実に差し込んでから、ドラム・キーでボルトを強く締めます。

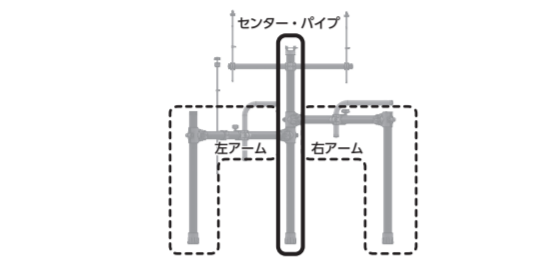
右アーム部分

1-3. 右脚 ② のホルダーのボルトをドラム・キーでゆるめ、右アーム ③ を差し込みます。

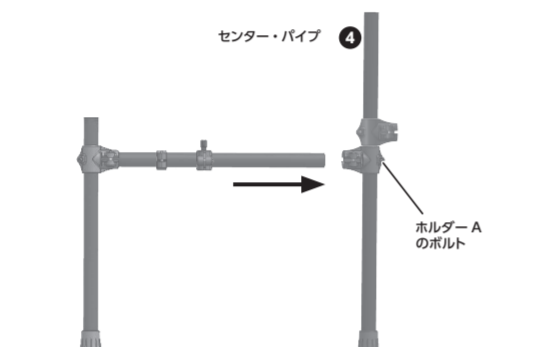


1-4. 奥まで確実に差し込んでから、ドラム・キーでボルトをしっかりと締めます。

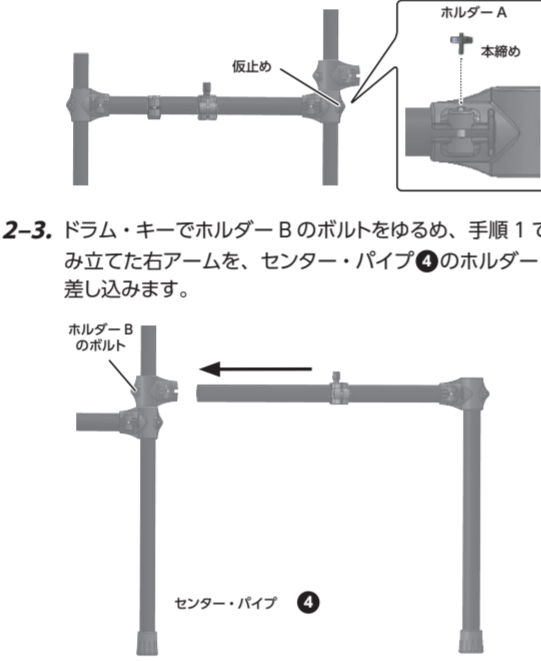
2. 左右アーム部分をセンター・パイプに取り付ける



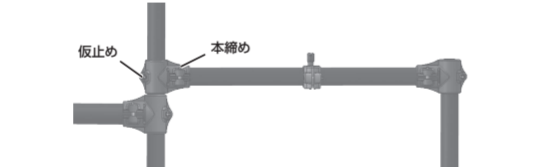
2-1. ドラム・キーでセンター・パイプ ④ に付いているホルダー A のボルトをゆるめて左に倒し、手順 1 で組み立てた左アームを、ホルダー A に差し込みます。



2-2. 奥まで確実に差し込んでから、ドラム・キーでホルダー A のボルト (2箇所) を締めます。



2-3. ドラム・キーでホルダー B のボルトをゆるめ、手順 1 で組み立てた右アームを、センター・パイプ ④ のホルダー B に差し込みます。



2-4. 奥まで確実に差し込んでから、ドラム・キーでホルダー B のボルト (2箇所) を締めます。

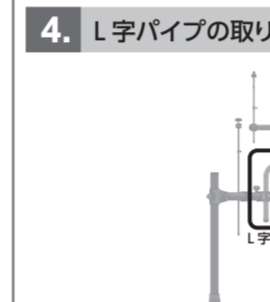
3. 縦パイプの調整

3-1. センター・パイプ ④ を起こし、ドラム・スタンドが自立する角度に調節します。

3-2. 手順 2 で仮止めたホルダー A と B のボルト (2箇所) をしっかりと締めます。



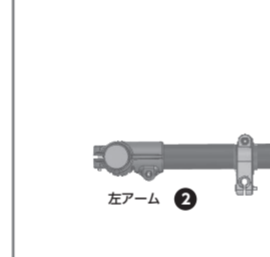
3-3. 3本の縦パイプが確実に垂直になっているか、左右のアームが確実に水平になっているか確認します。



4. L字パイプの取り付け

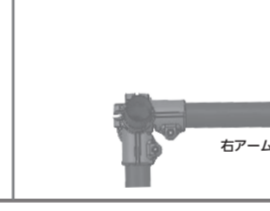
4-1. ドラム・キーで左アーム ② のL字パイプ・ホルダーのボルトをゆるめ、L字パイプ ⑩ を差し込みます。

4-2. ドラム・キーでボルトをしっかりと締めます。



4-3. ドラム・キーで右アーム ③ のL字パイプ・ホルダーのボルトをゆるめ、L字パイプ ⑩ を差し込みます。

4-4. ドラム・キーでL字パイプ・ホルダーのボルトをしっかりと締めます。



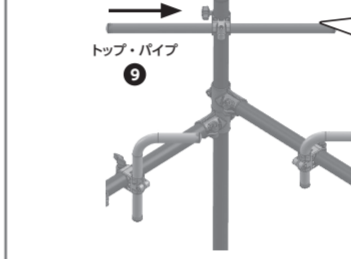
5. トップ・パイプの取り付け

5-1. センター・パイプ ④ 上部のホルダーのハンド・ノブをゆるめます。

5-2. ボルトが正面にくるようにホルダーを回して、ハンド・ノブをしっかりと締めます。

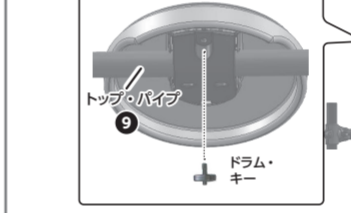


5-3. トップ・パイプをホルダーに差し込み、ドラム・キーでボルトをしっかりと締めます。



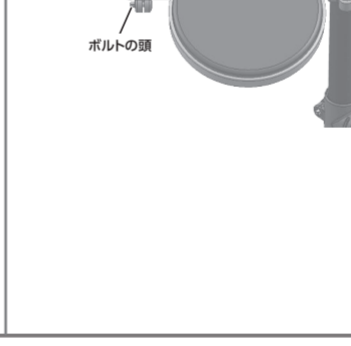
6. タム・パッド (T1, T2) とシンバル・ロッド・ホルダーの取り付け

6-1. トップ・パイプ ⑨ にタムを通し、ドラム・キーでボルトをしっかりと締めます (2箇所)。



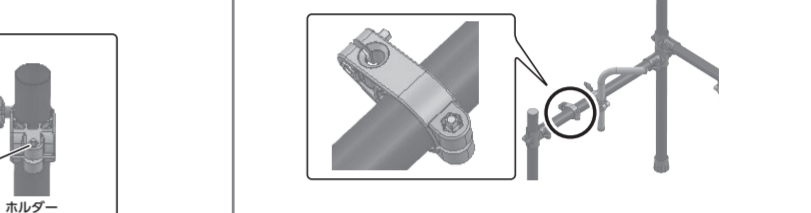
6-2. シンバル・ロッド・ホルダー ⑧ をトップ・パイプ ⑨ の端に取り付け、ドラム・キーでボルトをしっかりと締めます (2箇所)。

※ シンバル・ロッド・ホルダーの縦ボルトがスタンドの後ろ側、横ボルトの頭が外側にくるように、図のような向きで取り付けてください。

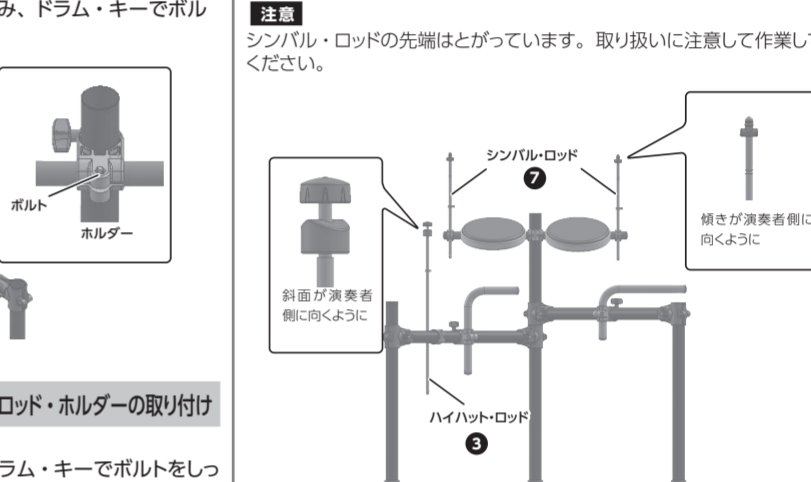


7. シンバル・ロッドとハイハット・ロッドの取り付け

7-1. ハイハット・ロッド・ホルダーの差し込み穴がスタンドの後方にくるように、固定し直します。



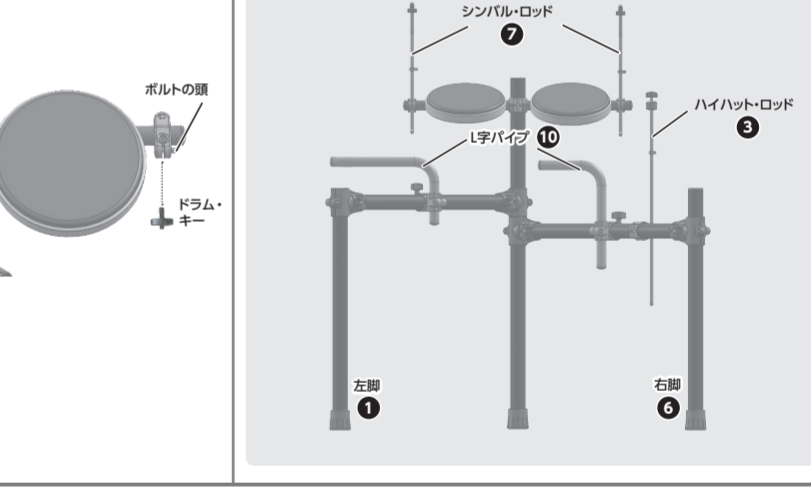
7-2. ハイハット・ロッド ③、ライド用のシンバル・ロッド ⑦ とクラッシュ用のシンバル・ロッド ⑦ をホルダーに差し込み、図のようにすべてのホルダーの位置や向きを調整して完成です。



左利き用に組み立てる場合

左利き用にする場合は、以下のように組み立ててください。

- 左アーム ② のハイハット・ロッド・ホルダーを、右アーム ③ の右側へ取り付けます。
- 右アーム ③ のL字パイプ・ホルダーにL字パイプ ⑩ (長いほうを差し込む) を取り付け、ハイハット・ロッド ③ をハイハット・ロッド・ホルダーへ取り付けます。
- 左アーム ② のL字パイプ・ホルダーへL字パイプ ⑩ (短いほうを差し込む) を取り付けます。



3 各パーツを取り付けよう

※ パッドやペダルの位置や高さは、体格やお好みによって、演奏しやすいように調節してください。

注意

ドラム音源ホルダーを操作するときや、ハイハット・コントロール・ペダル、キック・ペダル、シンバルの演奏をするときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所を使用するときは、必ず大人のかたが監視/指導してください。

クラッシュ・シンバル/ライド・シンバル (CY-5) を取り付ける

シンバルをシンバル・ロッドに上から押し込みます。

ドラム音源 (TD-02) を取り付ける

1. ドラム音源ホルダーのボルトを使って、ドラム音源をドラム音源ホルダーに取り付けます。

2. ドラム音源ホルダーのボルトをゆるめて、センター・パイプの上部に取り付けてから、ボルトを締めます。

ハイハット (CY-5) を取り付ける

※ ハイハットはドラム・スタンドに付属のシンバル・ネットを使って取り付けます。

1. ハイハット・ロッドの回り止め (山部分) とシンバル底面の谷部分が合うように載せます。

2. パッドを叩いたときに、くらつかない程度にシンバル・ネットを締めます。

シンバルの位置調節

シンバルの最も高い部分が115cm以下になるように、シンバル・ロッドの高さを調節してください。

115cm

※ ドラム・スタンドの転倒を防ぐため、両端のスタンド脚パイプの距離を1m以上離さないでください。

スネアとタム (PD-4) を取り付ける

L字パイプ

ドラム・キー

4 パッドとドラム音源 (TD-02) を接続しよう

接続の手順

1. 専用接続ケーブルを下図のようにドラム音源に接続します。端子を奥まで差し込み、つまみを回して固定してください。

2. 専用接続ケーブルには、接続するパッドを示したラベルが貼られています。右図を参考に接続してください。

※ プラグは確実に奥まで差し込んでください。

専用接続ケーブルの配線図 (背面から見た図)

※ ケーブル類は、演奏の妨げにならないように、ケーブルクリップ ⑪ を使って固定してください。推奨する取り付け位置を、○で示しています。

「CR2」は使用しません。別売りのシンバル・セット (OP-TD1C) を使って、シンバルを増設するときに使います。増設しないときは、キャップを付けたまま、演奏の妨げにならないように固定してください。

左利き用のセッティングにする場合

「2 ドラム・スタンドを組み立てよう」の「左利き用に組み立てる場合」に従ってドラム・スタンドを組み立て、右図のように各パーツの取り付けとケーブルの接続をしてください。


専用接続ケーブルの配線図 (背面から見た図)

「CR2」は使用しません。別売りのシンバル・セット (OP-TD1C) を使って、シンバルを増設するときに使います。増設しないときは、キャップを付けたまま、演奏の妨げにならないように固定してください。

これで、組み立てと接続が完了しました。接続が完了したら裏面の「クイック・スタート」の手順に従って電源を入れ、音が鳴るかを確認してください。

各パーツの詳しい説明

■ PD-4 (スネア、タム)

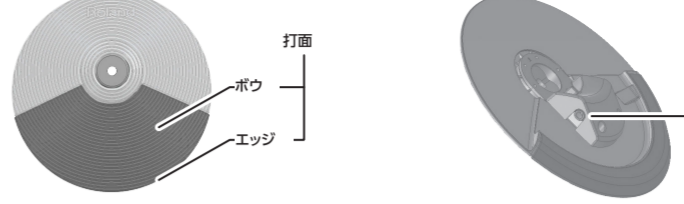


ヘッド

OUTPUT 端子

注意
PD-4 は、リム・ショットには対応していません。

■ CY-5 (ハイハット、ライド、クラッシュ)



打面

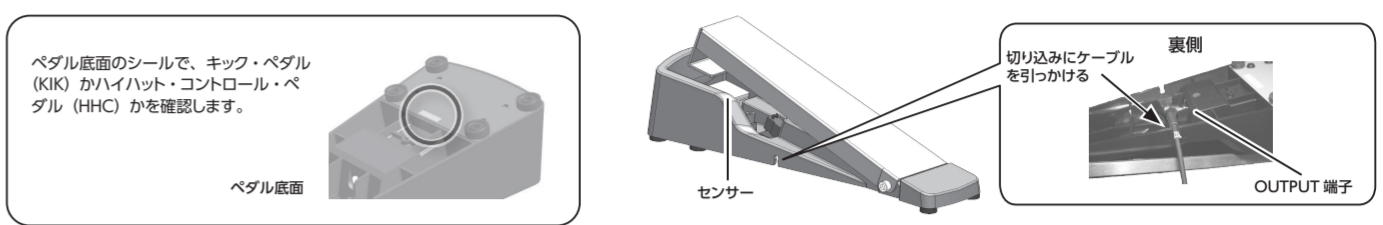
ボウ

エッジ

OUTPUT 端子

注意
ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上には影響ありません。

■ ハイハット・コントロール・ペダル、キック・ペダル



ペダル底面のシールで、キック・ペダル (KIK) かハイハット・コントロール・ペダル (HHC) かを確認します。

ペダル底面

センサー

切り込みにケーブルを引っかける

裏側

OUTPUT 端子

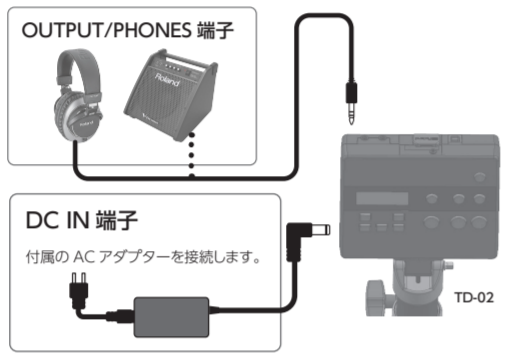
クイック・スタート

ドラムは叩けば音が出る、誰にでも簡単に始められる楽しい楽器です。内蔵されているさまざまな音色で、ドラムの演奏を始めましょう。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- TD-02 にヘッドホン (別売)、またはアンプ内蔵スピーカー (別売) を接続します。
※ アンプ内蔵スピーカーを接続した場合は、アンプ内蔵スピーカーの音量を最小にします。
※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- [**o**] (電源) ボタンを押します。
TD-02 の電源が入ります。
- アンプ内蔵スピーカーを接続した場合は、アンプ内蔵スピーカーの電源を入れ、音量を調節します。
- TD-02 の [**+**] [**o**] (音量) ボタンで音量を調節します。



電源を切る

- TD-02 にアンプ内蔵スピーカーを接続した場合は、アンプ内蔵スピーカーの音量を最小にして電源を切ります。
- TD-02 の [**o**] (電源) ボタンを長押しします。
TD-02 の電源が切れます。
※ 必ず [**o**] (電源) ボタンを長押しして、電源を切るようにしてください。電源コードが抜けて電源が切れた場合は、設定が保存されません。

Auto Off 機能について

TD-02 は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。

- 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

▶ 詳しくは表面に記載の 2 次元コードから「TD-02 取扱説明書」(Web) をご覧ください。

演奏する

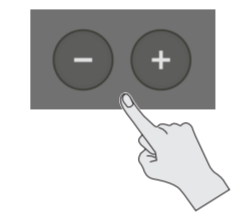
ドラム・キットを選ぶ

※「ドラム・キット」とは、各パッドに音色が割り当てられたセットのことです。

- [**o**] (ドラム・キット) ボタンを押します。



- [**-**] [**+**] ボタンでドラム・キットを選びます。



- パッドを叩いて演奏します。

メトロノームに合わせて叩く

メトロノームを鳴らして、演奏することができます。

- [**o**] (メトロノーム) ボタンを押します。
メトロノームがオンになり、メトロノームのテンポに合わせてボタンが点滅します。

メモ

[ENTER] ボタンを押しながら [**o**] (メトロノーム) ボタンを押すと、画面を変えずにメトロノームをオン/オフすることもできます。

- もう一度 [**o**] (メトロノーム) ボタンを押して、メトロノームを止めます。

メトロノームの鳴らしかたを変える

- メトロノーム画面で、[**o**] [**+**] ボタンを使って設定したい項目 (パラメーター) を選びます。
- [**-**] [**+**] ボタンで、値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	ON, OFF	メトロノームのオン/オフを切り替えます。
Tempo	20 ~ 260 (bpm)	テンポを設定します。
Level	-INF ~ +6.0dB	音量を設定します。
Beat	1 ~ 9 (拍子)	拍子を設定します。
Rhythm	♪ (2 分音符)	リズム・タイプを設定します。
	♪ (4 分音符)	
	♪ (8 分音符)	
	♪ (16 分音符)	
Pan	L30 ~ CENTER ~ R30	定位を設定します。
Sound	TYPE1 ~ TYPE15	音色パターンを設定します。
LED Sync	ON, OFF	テンポに合わせて [o] (メトロノーム) ボタンを点滅させるかどうかを設定します。

- [**o**] (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・キット画面に戻ります。

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

警告と注意の意味について

警告
取り扱いは誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。

注意
取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。
※物的損害とは、家屋・家財および家具・ペットにかかわる重大な損害を表しています。

図記号の例

▲は、注意 (危険、警告を含む) を表しています。具体的な注意内容は、▲の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。

⊘は、禁止 (してはいけないこと) を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。

●は、強制 (必ずすること) を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

警告

Auto Off 機能について
本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。

付属の AC アダプターを AC100V で使用する
AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。

付属の電源コードを使用する
電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

注意

移動するときの注意
本機を移動するときは以下のことを確認したあと、必ず 2 人以上で水平に持ち上げて運んでください。このとき、手をはさんだり、足の上に乗ったりしないように注意してください。

- ボルトやハンド・ノブがゆるんでいないか確認する。ゆるんでいる場合は、しっかり固定する。
- 電源コードをはずす。
- 外部機器との接続をはずす。
- キック・ペダルの接続ケーブルをはずす。
- ハイハット・コントロール・ペダルの接続ケーブルをはずす。

指などをはさまないように注意する
下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように注意してください。お子様が使用される場合は、大人のかたが監視/指導してください。

- ハイハット・コントロール・ペダル
- キック・ペダル
- シンバル・パッド裏側 (図参照)
- ドラム音源ホルダー (図参照)

小さな部品はお子様の手が届かないところに置く
下記の部品はお子様がつまんで飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- 付属品
 - シンバル・ナット
 - 取りはずしが可能な部品
 - ボルト、ネジ類
 - CR2 プラグのキャップ
 - Bluetooth ADAPTOR 端子のカバー

使用上のご注意

電源について

- AC アダプターは、文字が表示された面が下になるように設置してください。

設置について

- 設置条件 (設置面の材質、温度など) によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を变色または変質させることがあります。
- 修理について
修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払ってありますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に關しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社は、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はメモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に關しましては、補償も含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通過しての振動は意外によく伝わります。特にヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がからないように注意しましょう。
- 打面部のゴム部品には、性能維持のために劣化防止剤などを塗布してあります。時間経過に伴い、これらの添加剤が表面に現れて、白く汚れたように見えたり、製品検査時のチェック窓が見えたりする場合がありますが、製品の性能や機能には影響ありませんので、安心してお使いください。
- ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上影響はありません。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ (音色波形データ、スタイルデータ、伴奏パターン、フレーズデータ、オーディオ・ループ、画像データなど) の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ (ただしメロディなどの楽曲データは除く) を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに關しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは差出した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づく T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。Copyright © 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved. Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"). You may obtain a copy of the License at http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0
- Roland, V-Drums は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

注意

TD-02 自体には、Bluetooth® 機能は搭載されていません。BOSS Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor (BT-DUAL) を取り付けることで、Bluetooth 機能を使用することができます。